

《令和3年度「志教育」実践事例》「就職希望者模擬面接」

1 教科科目等	総合的な探究の時間
2 実施日	令和3年9月14日（火）2・3校時（2時間）
3 対象	第3学年就職希望者 65名
4 概要・目標	<p>【概要】</p> <p>3学年の就職希望者を対象に、就職試験に向けた面接練習を行った。</p> <p>（事前指導）</p> <p>就職希望者は総合的な探究の時間を通して、職業の選択と社会貢献及び自己実現について考えを深めた。応募前企業見学に参加し、志望企業を決定させた。さらに、志望企業の企業研究を深め、試験科目や面接の対策を行った。</p> <p>（実践指導）</p> <p>生徒を7グループに振り分け、各グループを講師が担当し、模擬面接指導を行った。講師による質問を通して、声の大きさや話し方等はもちろんのこと、生徒は自身の高校生活を振り返りながら、自己理解を深め、志望動機と自己アピールの内容に磨きをかけることができた。また、同グループの生徒の練習を見学することで、良い点を取り入れ、改善点を指摘し合う等、切磋琢磨する様子が見られた。</p>

	<p>【目標】</p> <p>本事例の目標は短期的なものの中長期的なものがある。短期的な目標は、生徒が直前にせまった就職試験の効果的な対策をすることで、志望企業から内定をいただき、進路を決定することである。中長期的には、講師との受け答えを通して高校生活や自分の長所等の振り返りをすることで自己理解を深め、自分の職業選択やそれを通じた社会貢献、さらには自己実現に関してより確固たる自信をもつことができることである。このような経験を通して、生徒は自身の将来像をより明確に描くことができるようになり、試験対策のみならず、就職後の活躍や早期離職の防止等にもつながると考える。</p>
5 成果と課題	<p>【成果】</p> <p>生徒の多くは、講師の指導を通して面接試験により自信を持つことができた様であった。自分ではさほどのことでもないと思いきみ模擬面接では話さなかった内容が、講師との面接後のやりとりで話題に上がり、実はそのことがその生徒にとって大きなアピールポイントであると気づいた生徒もいた。全体的に成果が大きかったと言える。</p> <p>【課題】</p> <p>本事例をより効果的なものにするには、事前指導の充実が不可欠である。今年度も事前指導に十分時間をもって行ってきたものの、ごく少数の生徒は段階として不十分であった。来年度は事前指導の工夫・改善をしたい。</p>